

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

令和2年12月25日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本					
バラ	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.8 (97%)	520 (100%)	345 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市	気温の低下により換気の頻度が下がったことで、積極的に炭酸ガス施用を行い、品質は良好。また、一部では10月ごろの日照不足の影響が見られたが、徐々に回復しており、1月は平年並みの出荷を見込む。
ロア メル リスト アト	長野県	加温・ 地中 冷房	ピンクティアラ ペルーガ マッサ ピンクサプライズ	周年 (4月)		1,150 (102%)	310 (102%)	30	30	35	上伊那 信州諏訪 松本ハイランド 佐久浅間	年末需要に向けて、しっかり暖房を入れて栽培していることや年内で出荷終了となる生産者もいるため、出荷ペースは緩やかになる見込み。

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

令和2年12月25日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	11月下旬からの暖冬の影響で出荷が前倒となり、入荷量は国産中心に少ない。輸入品はケニア、エクアドル産は通常通りだが、インド産が無い為、入荷は激減した(大田)。ブライダルやスタンド需要少なく、販売価格は昨年より15~20%安め。愛知・静岡・栃木など(FAJ)。急な冷え込みもあって、入荷はさほど多くはない。しかし洋花中心に動きは鈍く、後半になるだろう(第一花き)。赤色中心に強い。入荷量は横ばい(世田谷花き)。国産は前年並みの入荷量。輸入はインド産の入荷は無く、他の国での本数はカバー出来ず。販売は婚礼等の業務需要は少なく、量販と一般家庭の動きがメインで中下位等級中心に引き合いが強い販売(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	西南暖地は加温を通常通り行くと予想されるが、高冷地は低温管理を行う為、入荷が減少。輸入品は、ケニア産、エクアドル産が通常の6日から入荷予定。インド産は入荷無し。
		FAJ	愛知・栃木・茨城などより入荷。平年並みの入荷数量だが、年明けイベント不透明のため販売苦戦か。
		第一花き	冬期に加温する面積は例年並みの見込み。若干遅れ気味だったが、例年並みに推移する見込み。輸入品に関しては不定期。
		世田谷花き	入荷は減少傾向。上位等級中心に引き合いは強い。
		東日本板橋花き	国産は年末の寒さと、輸入は大きな需要が無く、入荷量は減る。販売は引き続き小売りと量販系中心の動き。
アルストロメリア	現状	天候が良く、愛知・長野は例年並みに出荷数量は安定。葬儀需要の縮小等があり、単価面では安値での取引となった(大田)。長野・山形などより入荷。入荷数量は昨年同程度も販売やや苦戦。20日くらいより動き強まる(FAJ)。徐々に各産地増えてくるであろう。相場は弱いがそれなりに動きはある(第一花き)。各色潤沢。動き鈍いが業務中心の動き。下旬に向けて数量横ばい(世田谷花き)。愛知中心の入荷。昨年並みの入荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	愛知・長野は安定的な出荷となり、各色しっかりとした数量の出荷となる。輸入の入荷はなくなる見込み。葬儀需要の縮小により販売環境は不安定な状況となる。
		FAJ	長野・山形などより入荷予定。入荷数量は昨年同程度の見込みも需要は葬儀次第。
		第一花き	概ね順調である。日持ちもよく需要に対応できるであろう。
		世田谷花き	入荷量落ち着く。引き合いそれなり。
		東日本板橋花き	愛知中心の入荷。昨年並みの出荷予定だが、天候次第で入荷の増減あり。
ストック	現状	山形、千葉中心の出荷。生育が遅れた分や台風の被害から回復した分など出回りは多い。昨年と比べ、高値は出にくいものの需要期に向け引き合いは強まった(大田)。天候の影響もあり11月後半から12月前半にロットまとまり相場崩れる。23日くらいより反発(FAJ)。山形・福島県は遅れていた分、切り残しがある。千葉県産は、今年の台風からだいぶ回復。生育順調(世田谷花き)。	
	見通し	大田花き	山形はほぼ終了し、千葉がメインとなる。寒さの影響を受け、数量が左右されるが、安定的な入荷となる見込み。
		FAJ	千葉県中心の入荷に。出荷数量は昨年同程度を予定も需要は葬儀数次第。
		世田谷花き	主に千葉県からの入荷。出荷は順調だが、コロナ過で、葬儀を中心に需要低迷。